

# 通信小海

## ポーズの人

牧師 水草修治

「どうしてそんなに反対するのか理解できない。」靖国神社公式参拝について内外の批判を受けても、小泉首相はこの発言をくり返しているが、これは単なる政治的ポーズ、おとぼけ、嘘にすぎない。ほんとうに理解できないわけがない。

反対理由の一つは、それが違憲だからである。憲法第二一条第二項「国およびその機関は、宗教教育その他いかなる宗教的活動もしてはならない」。内閣総理大臣は国の機関、神社参拝は宗教的活動、ゆえに違憲であることくらい小学生でもわかる。首相にわからぬ

### 【今月のひと】

「彼らはその剣を鋤に、その槍をかまに打ち直し・・・」

イザヤ二章四節

はずがない。

また、首相は参拝は平和祈念のためというがこれもポーズである。平和祈念に軍国主義の象徴、靖国神社が適当だと誰が思うだろう。戦車が平和のシンボルにならないのと同様である。実際は今後ガイドライン法に基づいて起こるのである。日米共同戦争の戦死者を顕彰するための布石である。

公式参拝を強行すれば、中国・韓国は駐日大使召還程度の抗議行動は取るであろうと言われている。そうなれば、来年予定されているサッカー、ワールドカップの日韓の協力開催計画も風前の灯。そして、世界の友国を失うことになるだろう。この国のため祈らないではいられない。

「王とすべての高い地位にある人たちのために願ひ、祈り、とりなし、感謝が捧げられるようにしなさい。」第二テモテ二

日本同盟基督教団 松原湖高原教会 牧師水草修治

牧師館 長野県南佐久郡小海町大字豊里一十六 一

〒三八四一一三 二六七九二四七七六

郵便振替 五三 六一六八三

黄色い十字架 パロの五十メートル北  
ヤナシヨウの向かい

### 集会あんない

日曜日

朝礼拝 午前十時から十一時

夕礼拝 午後八時から九時

水曜日

祈り会 午後七時半

\*初めての方も歓迎します。

\*聖書を読む会を、八千穂・海尻・小海でしています。お問い合わせください。

\*個人的相談にも乗ります。

# 小海線で

## 高校生の服装

小海線に乗っていて、いつもとちがう車

内風景に気づいた。夏休みとあって、高校生たちがジーンズにTシャツ姿なのである。カラフルなTシャツたちは、もちろん休み中のせいもあるが学生服の彼らよりずっと生き生きしている。いつもは黒と白を基調とした学生服を極度に着崩しているために、だらしなく暗い印象なのだ。この日のTシャツ姿はにぎやかな笑い声ともぴったり合っていた。

制服は制度的(フォーマル)に定められたデザインであるから、フォーマルに着ない限りはみつともない。男子は髪をとかし詰襟のホックをとめ、女子はスカート丈を長すぎず短かすぎず着こなす。泥をひきずるルーズソックスはバツ。しかも、言葉遣いも、姿勢もフォーマルでないと学生服はみつともない。まあ軍服みたいなものなのである。グニャグニャした兵士がみつともな

いように、グニャグニャした学生服姿はみつともない。教師が背広・ネクタイか紋付はかまで教えていた時代ならともかく、ジャージ姿の教師が教壇に立つ時代、生徒も制服から私服に切り替えたほうが、よほどござっぱりして良いかもしれない。

ついでにもう一つ。こちらは季節はずれな話だが、この寒冷地では、冬場、女学生の制服はズボンにすべきだ。今風にいえばパンツルック。でなければ、厚手のタイツをはかせたい。氷点下十度をくだる寒風の季節に短いスカートでは、将来子どものできないからだになってしまいかもれない。「からだは着物よりたいせつなものではありませんか。」(マタイ六二二十五)

でも、親や教師がこんなことを言っても、娘たちはズボンをはこうとはすまい。それならば、次の事実を娘に伝えてはいかがだろう。真冬に脚を露出していると、からだは自分を守るために皮下脂肪がどんどん付いて、脚はみるみる太くなる。ちょうど、北極海にすむトドやアザラシみたいなくあいに・・・制服にこだわるなら、冬用はかっこいいパンツルックをデザインしてほしいものだ。

## お米を小海町役場へ

山谷の労働者は平均年齢五十九歳。定職への再就職はたいへん困難です。それで日雇いになります。これこそ不景気の影響をものに受けます。職にあぶれた人々は、今日明日の糧に困っています。

みなさんのご好意で、お米が各地から集まって、東京と長野の倉庫に現在三トン近く与えられ感謝しています。とはいえ、これでも三ヶ月程度の炊き出しで消費してしまいます。倉庫に古米が眠っていましたら、ご協力ください。

なお役場のご協力で、貯蔵庫が、小海町役場の倉庫になりました。感謝

\*小海町役場 電話九二二二五二五

\*車で運べない方は、山谷福祉会館の藤田さんが伺います。

藤田寛 電話 四二七八六二一 八八

\*カンパしてくださる方は次の口座へ。

干振替 二四一四一五三七九六

山谷農場

^キリストのことば^

## 良い羊飼

「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしは羊の門です。わたしの前に来た者はみな、盗人で強盗です。羊は彼らの言つことを聞かなかったのです。わたしは門です。だれでも、わたしを通つてはいるなら、救われます。また安らかに出入りし、牧草を見つけます。」

盗人が来るのは、ただ盗んだり、滅ぼしたりするだけのためです。わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。わたしは、良い牧者です。良い牧者は羊のためにいのちを捨てます。」

ヨハネ福音書十章

「迷える子羊」ということばをどこかで耳にしたことはないだろうか。どうして「迷える子羊」であつて、迷える犬ではないのか。それは犬には帰巢本能があつて迷子にならないが、羊には帰巢本能がないので羊飼いがいないとすぐに迷子になつてしまつからである。おいしい牧草に浮かれ、好奇心にひかれてふらふらと迷い出てしまつと、羊はもう主人のもとに帰ることもできなくなる。そして、オオカミが襲つてくるのを待つばかりになつている羊が迷える子羊なのである。

「迷える子羊」とは、ある人々のことを意味している。次の問いに答えられない人は、イエス様の目から見ると迷える小羊なのである。

「あなたにとつて生きるおもな目的は何ですか？」

「あなたは死と死後の問題は解決ついていますか？」

あなたは答えられるだろうか。

もうひとつ。「あなたが後生大事に、神として拜んでいる、その神さまとはどついう神のですか？」迷える羊は、この問いにもはつきりと答えることが出来ない。まことの神

から迷いでしまった人は、神を捜し求めて見出すことができないので、石や木を刻んだりしてこれを拜んだりする。しかし、自分が拜んでいる物はほんとうに自分を救つてくれるのだろうかと不安である。そこで占いをしたりするが、占いで「大凶」などと出てしまえば、一層不安になつてしまふ。それで霊媒師に相談して「水子の霊が取りついている」などと脅かされれば、なお一層不安になつてしまふ。イエス様に言わせれば、偶像も、霊媒師も、占い師も「盗人であり強盗」である。

迷える小羊は、帰るべき主人のもとに帰れば平安を得る。しかし、自分では帰ることができない。そこで、羊飼いが羊をさがしにきてくださった。主イエス・キリストである。主イエスは神であられながら、人となつて地上に下つて来てくださった。あなたを捜し救うために来てくださったのである。あなたも「イエス様、わたしはここにいます。助けてください。」と真剣に呼んでみてください。主イエスはかならず答えてくださる。

## つばめも巢を

「うちにもつばめが巢を作ってくれたらいいのになあ。」子どもの頃、春になってつばめが近所の軒下に巣づくりを始めるといつもそんなことを考えていた。けれども、私が住んだ家には一度もつばめが巢を作ってくれたことがなかった。

ところが、今年、初めて北側の軒下につばめが巢を作ってくれた。父母つばめは、ひなたたちのために、片や巢をからすの襲撃から見張り、片やせつせと餌を運ぶ。顔中口にしたひなたたちはもりもり食べて、どんどん大きくなる。図体が親と同じくらいになって巢が手狭になった七月半ばの朝、気づくと四羽はすでに巣立っていた。四羽はいつたどこへいったのだろうと気にかけていると、午後、家内が「ほら、あそこに！」と台所の窓から見える電線を指さした。四羽青空を背景にちよこんと並んでいる。そして、なお親たちが餌を運んでい

るではないか。また、時折、父母とは別のおじさん、おばさんつばめたちもひなたたちに近づいては何かを話しかけている風情。

あと一月もすれば、ツバメたちは南に向かつて旅立つのだろう。

つばめ夫婦の子育てのようすを見ながら、最近あまりにも多い子どもの受難のニュースを思わないで入れなかった。食べ物をもたえずに餓死してしまったり子ども、継父による虐待であざだらけになって死んでしまったり幼児、パチンコにいった親に猛暑の車中に置き去りにされて死んでしまったり赤ん坊とか、聞くに堪えない事件がある。

主イエスは幼子たちをたいへん大切にされた。「まことに、あなたがたに告げます。あなたがたも悔改めて子どもたちのようにならないかぎり、決して天の御国には、はいれません。だから、この子どものように、自分を低くする者が天の御国で一番偉い人です。まただれでも、このような子どもをひとり、わたしを信じて受け入れる者は、わたしを信じて受け入れるのです。しかし、わたしを信じてこの小さい者たちのひとりにでもつまずきを与えるような者は、大きい石臼を

首にかけられて、湖の深みで溺れ死んだほつがましです。・・・あなたがたは、この小さい者たちを、ひとりでも見下げたりしないように気をつけなさい。まことに、あなたがたに告げます。彼らの天の御使いたちは、天におられるわたしの父の御顔をいつも見ているからです。」(マタイ十八三 九抜粋)

お父さん、お母さん、あなたたちの子どもたちは神様があなたがたを信頼して託されたたいせつな宝です。神様はその幼な子が、まことの神を愛し、隣人を自分自身を愛するような人となることを期待していらつしやいます。あのつばめの夫婦が教会の軒に巢を得て、子育てを立派にやり遂げたように、みなさんも教会につらなって神の宝である子どもたちを育ててください。

「万軍の主。あなたのお住まいはなんと、慕わしいことでしょう。・・・雀さえも住みかを見つけました。つばめも、ひなを入れる巢、あなたの祭壇を見つけました。」